

平成18年度中学生海外研修

市内中学生がオーストラリアで国際交流

常陸大宮市では、将来を担う子どもたちに「語学の向上を図る」「国際相互理解を深める」「視野を広げ、豊かな人材育成をめざす」という3つの目的で中学生海外研修を実施しています。

今回参加した市内の中学3年生67人と引率者8人の75人の団員は、8月15日に日本を発ち22日までの8日間、オーストラリアでのホームステイやハイスクールで交流を行って来ました。

南半球での異文化に触れた1週間は、生徒達の心に様々な思い出を残したようです。

<研修内容>

- ①事前研修・結団式 4回（各自及びグループ別テーマの設定と事前調査、英会話練習など）
- ②自然・異文化学習
- ③4つのハイスクールでの交流学習
 - A班 ヒースコート・ハイスクール
 - B班 ポートハッキング・ハイスクール
 - C班 エンガティン・ハイスクール
 - D班 ジャナリ・ハイスクール
- ⑤ホームステイ（4泊）
- ⑥事後研修 2回
- ⑦報告会（8月30日）

研修者の感想から

○「靴を脱がない」「お風呂はシャワーだけ」など、研修テーマの事前調査の情報以外にも、自分たちの生活様式との違いをたくさん体験できた。また、語学力をもっと磨く必要があると実感した。

○コミュニケーションの難しさや研修テーマである文化の違い等を学ぶことができた8日間だった。学んだことを今後の学校生活に生かしていきたい。

○食生活の違いや文化の違いに戸惑うこともあったけど、私達を迎えてくれたオーストラリアの人々の優しさに触れ、充実した研修だった。今は、感謝の気持ちでいっぱいである。

○オーストラリアでの8日間を通して、他校との交流も深まった。自分たちの語学力も向上できたり、研修テーマの文化の違いに触れることができたり、すばらしい研修となった。



結団式



日本文化の紹介と体験



ハイスクールでの交流体験

◆研修の成果◆

- 1 各個人やグループごとにテーマを設定して事前研修を行い、現地での研修も目的をもって取り組めた。
- 2 オーストラリアの文化や自然に触れることにより国際相互理解を深めることができた。
- 3 現地での交流学习やホームステイでは、積極的にコミュニケーションをとることができ、語学力の向上が見られた。
- 4 8日間の研修を通して、参加した生徒それぞれが言葉や習慣の違いを乗り越え、視野を広げるとともに自信をつけることができた。